

兵庫県立芸術文化センタープロデュース

出演
莊村清志

クラシックを舞う

日本を代表するギタリスト莊村清志の演奏と

日本フラメンコ界のパイオニア小松原庸子の

小品を同時に堪能できる稀少な公演

出演 奥濱春彦

谷淑江 田尻希絵 北山由佳 玉沖朋子

ミゲル・デ・パダホス(歌)

高橋紀博(ギター) 寺嶋千紘(ピアノ)

予定楽曲

愛のアランフェス アストウリアス グラナダ



8月10日 2013 土

開演3:00 pm (開場2:30pm)

水戸芸術館ACM劇場

【料金】全席指定(消費税込)

S席4,500円 A席4,200円 B席3,500円

【一般チケット発売日】2013年6月1日(土)

友の会、他先行電話予約有り(詳細は裏面)

【お問い合わせ】水戸芸術館ACM劇場 TEL:029-227-8123(10:00~18:00 月曜休館)
〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8 <http://arttowermito.or.jp/>

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団 【企画・製作】兵庫県立芸術文化センター
【制作】小松原庸子スペイン舞踊団 兵庫県立芸術文化センター

※未就学児はご入場いただけません。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。その場合、払い戻し等は行いませんので、予めご了承ください。



SHOMURA
KIYOSHI

莊村
清志

1947年岐阜県出身。64年スペインのマドリッド音楽院に留学。69年デビュー。2009年にデビュー40周年を迎えた実力、人気ともに日本を代表するギター奏者。ソロ活動に加えて、フルート、ピアノ、ヴァイオリン、チェロや声楽等との共演にも積極的に取り組み、ギターの魅力をさまざまな形で伝えている。07年にはNHK教育テレビ「趣味悠々」に講師として出演。08年にはスペインでジルバオ交響楽団の定期演奏会に出演するとともに、《アランフェス協奏曲》を録音。09年5月にリリースされたCDは名盤として注目を集め、同団との日本ツアーも好評を博した。東京音楽大学客員教授。小松原庸子とはスペイン留学時代からの友人で、12年2月新国立劇場における『小松原庸子、スペインと50年「フラメンコ オペラを舞う」』にも特別出演、圧倒的な技量で客席を魅了した。



小松原
庸子

KOMATSUBARA
YOKO

東京都出身。幼少時より三味線、日本舞踊、クラシック・バレエを習得。15歳より小牧バレエ団の公演に出演。後に俳優座養成所に入所。

1959年単身スペインに渡る。修行の後、ラファエル・デ・コルドバ舞踊団に入団。世界各国の公演に参加する。

65年に帰国、スペイン舞踊研究所を開所。69年小松原庸子スペイン舞踊団結成。78年数々の実績により、スペイン政府から「イサベル・ラ・カトリカ勲章」を日本女性で初めて受勲。

83年、天才画家ゴヤを描く「ゴヤ・光と影」を創作、文化庁舞踊部門芸術大賞受賞。外国のスペイン舞踊団として初めてセビージャ、バルセロナ、マドリッド各市に招かれ公演、絶賛を博す。

86年テアトロ・エスパニョールに招かれ「ゴヤ・光と影」を10日間再演、大好評を得る。

87年よりスペイン舞踊の発展と若手舞踊家の育成を目的とした本格的なフラメンコ・コンクール「ビエナル・デ・アルテ・フラメンコ・東京」を開催。

88年「セビージャ・ビエナル・デ・アルテ・フラメンコ」に招かれ自伝的作品「私はフラ

メンコを選んだ」を王宮アルカーサルで初演し、89年にはマドリッドのテアトロ・エスパニョールで1週間満員の再演を果たす。

91年画家プリオ・ロメロ・デ・トレスの絵画の世界を表現した「コルドバの詩」を創作。

92年には万博記念コルドバ芸術祭に同作品を上演し益々その評価を高めた。

93年「小松原庸子スペインと30年」特別記念公演「カルメン」を上演。

96年紫綬褒章を受章。

99年、舞踊団創立30周年記念公演のフィナーレに、舞踊団旗揚げの公演「血の婚礼」を新たに上演。同年、'92年セビージャ万博記念の「コルドバの詩」を演出も新たに「遙かなるコルドバ」として上演。(両作品とも文化庁舞台芸術振興事業)。

2000年、東京日比谷野外大音楽堂での恒例の「真夏の夜のフラメンコ」は30回目を迎え、文化庁芸術活動推進事業のニューヨーク、初のサンパウロ公演も大成功。

01年フラメンコの歴史を振り返る意欲作「フラメンコ過去 現在 そして…」を上演。

02年「小松原庸子とスペイン40年」の年、スペイン・ラ・ウニオンとグラナダ及びサンパウロ公演。権威あるラ・ウニオン国際フェスティバルに招待され、外国人として初めて「フェスティバル開会の辞」を述べ、「血の婚礼」を上演。

04年、舞踊団創立35周年を迎え、多くの記念事業を企画、活発な創作活動を続ける。旭日小綬章を受章。

05年、アンダルシア州知事より「アミーゴス・デ・アンダルシア」を受ける。

06年、スペインにおいて優れた芸術家に贈られるAPDE賞、及びフラメンコの最も権威ある「コンパス・デル・カンテ」を同時に受賞。また、東京新聞より舞踊芸術賞を受賞。

07年、常磐津とのコラボレーション「炎とフラメンコ」を上演、絶賛される。秋には韓国、そして初の中国公演。

08年、次年度スタートする舞踊団創立40周年記念事業のプレイベントとして、「フラメンコその神秘と情熱」を初の能楽堂公演として開催。

09年、舞踊団創立40周年記念として、舞踊団の往年の名作「カルメン」「ドウエンデ・デル・フラメンコ」を東京芸術劇場で上演。スペイン国王陛下より「イサベル女王勲章エンコミエンダ章」を受章。秋には、スペイン公演と初のイスラエル公演。

10年、新国立劇場で林英哲氏の太鼓とドラントのピアノとのコラボレーション「HIBIKI-西と東」。また愛知県芸術劇場で「フラメンコその神秘と情熱」。東京の夏の風物詩「真夏の夜のフラメンコ」は第40回を迎える。秋には、フラメンコ界最大のフェスティバル「第16回ビエナル・デ・フラメンコ」に参加。また日墨交流400周年記念の一環として「淨瑠璃フラメンコ」をメキシコ国内4箇所で開催。

11年、41年目を迎えた恒例の野外フェスティバル「真夏の夜のフラメンコ」を、東日本大震災復興支援チャリティー・フェスティバルとして開催。スペインから巨匠達が来日。公演は大成功に終わり、収益の一部を義援金として、福島県南相馬市に寄付。

12年、渡西50年を記念した、『小松原庸子 スペインと50年「フラメンコ オペラを舞う」』を開催。新たな可能性を示唆した作品として脚光を浴びた。

2013年8月10日(土) 15:00開演 (14:30開場)

水戸芸術館ACM劇場

【料金】全席指定(消費税込)

S席4,500円 A席4,200円 B席3,500円

*未就学児童のご入場はご遠慮ください。

*車椅子でのご来場は予約時に水戸芸術館にご連絡をお願いいたします。

【一般チケット発売日】2013年6月1日(土) 9:30~

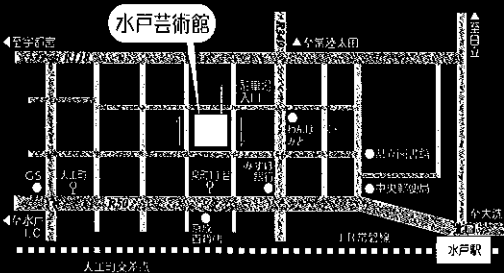
財団運営維持会員先行予約: 5月28日(火) ※電話予約のみ(お一人様2枚まで)
友の会(一般・法人)会員先行予約: 5月29日(水) ※電話予約のみ(お一人様2枚まで)

【チケット取り扱い】(9:30~18:00 月曜休館)

水戸芸術館エントランスホール内チケットカウンター
水戸芸術館チケット予約センター ☎029-225-3555

*チケット郵送サービスをご利用いただけます。

詳しくはチケット予約センターにお問い合わせください。



■水戸芸術館への交通のご案内

- 高速バスご利用の場合…東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから常磐高速バス(赤塚又は茶大ルート)水戸行きで約100分、原則1日1回。徒歩2分。
※ご利用の際は「ツインチケット」(水戸-東京往復:3,000円)がお得です。
- JRご利用の場合…上野駅から常磐線特急で65分~85分、水戸駅下車。北口バスターミナル4-7番のりばから乗車1日1回。徒歩2分。
- お中ご利用の場合…常磐自動車道水戸インターから回濱50号線を水戸市街地方面へ約20分。水戸芸術館地下の市営五軒町駐車場をご利用ください。駐車場入口は芸術館北側東端です。(料全30分まで無料、1時間まで200円。以下30分ごとに100円。営業時間7:00~23:00)

【お問い合わせ】水戸芸術館ACM劇場 TEL:029-227-8123(10:00~18:00 月曜休館)
〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8 <http://arttowermito.or.jp/>

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団